

目標達成計画

作成日: 令和5年3月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	「重症化した場合における対応に関する指針」に記載している事業所としてのターミナル期の援助方法は、利用者・家族に明確に伝わる具体的な文言記載が必要ではないか。	ターミナル期の介護は、本人、家族の希望に沿ってホームで出来る範囲の事を実施するとしている。入居時、サービス担当者会議など折に触れて、入居者の状況に応じて具体的な対応策提示と限界に誤解が生じないように丁寧な説明を早い段階でしていく。	・「重症化した場合における対応に関する指針」の中にホームで行えない具体例を記載し、理解しやすくする。 ・身体状況などを家族等にこまめに報告し、ターミナル期の意向を話し合い、ホームで出来る介護の範囲を共通の理解として記録していく。	12か月
2	18	面会・外出制限になっている現況、コロナの終息後外出支援をもとのようにしたいが、利用者の体力・認知力も低下し、ご本人の心地よく、季節や非日常を楽しむ計画をどうすべきか。	法人敷地内の散歩機会を増やし、体力を徐々に慣らしながら、法人、ご家族に協力を仰ぎ、近場のドライブなどの実施を行う。	・天気の良い日の敷地内散歩の実施。 ・利用者の希望する外出(墓参り等)の実施 ・法人に協力依頼し、車で近場のドライブ実施。 ・玄関前での茶話会増やす。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。